



## 「分度推譲立県」スタート

福田知事は1月4日、県公館で新春恒例の記者会見を開き、新年の抱負を述べました。この中で知事は「分度推譲（ぶんどすいじょう）」の理念に基づくとちぎづくりⅡ「分度推譲立県」を進めることを明らかにしました。「分度」は、一人ひとりが自立し、個性や能力を十分に発揮しながら計画的に行動することによって豊かさやゆとりを生み出そうという考え方。「推譲」は、互いに譲り合い支えあうことによって豊かさやゆとりを共有しようという考え方です。県は2002年を「分度推譲立県」元年とし「活力と美しさに満ちた郷土」とちぎ“”の実現をめざします。

## 2002 県政のあゆみ

2002年は「分度推譲立県」元年の宣言で幕を開けました。県立美術館は開館30周年、県立博物館は20周年を迎え、それぞれ記念展覧会を開き好評を博しました。また、初めての名誉県民に陶芸家の島岡達三さん、県民栄誉賞に音楽家の船村徹さんと渡辺貞夫さんが選ばれました。那須の豪雨災害復旧工事の完了や、生活道路の整備、思春期相談センター、再就職支援センターなどが設置されました。

## 国会等の移転実現に向け東京で総決起大会

2月22日、北東地域5県（栃木、福島、茨城、宮城、山形）の知事や県議会などの共催による「北東地域首都機能移転実現総決起大会」が東京都内で開催されました。出席した福田知事は、主催者あいさつ

で「国会等移転については決断の時を迎えている」と国会での早期決定を強く訴えました。さらに、大会決議と早期実現の必要性などを訴えた「緊急提言」を携え、国会と政府に対し要望活動を行いました。



とちぎ 2月号別冊

2003年2月15日発行  
編集・発行：栃木県広報協会

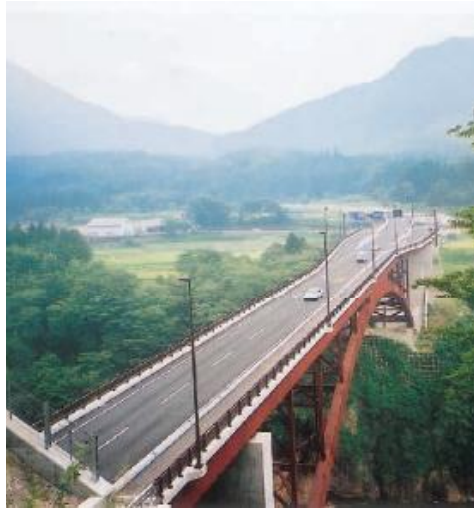
栃木県のホームページ  
<http://www.pref.tochigi.jp/>

3 March  
April 4

2002  
県政のあゆみ

## 龍王バイパスが開通

鬼怒川温泉と日塩有料道路を直結する龍王バイパスが3月25日に開通しました。この開通により、本県を代表する観光地である鬼怒川温泉や塩原温泉を訪れる多くの人たちに安全快適な交通を提供するだけでなく、渋滞の解消により沿道の生活環境の改善が期待されています。



## 新生企業局がスタート

県は行政改革の一環として、簡素でより効率的な経営体制を整備するため組織改編を行いました。「企業庁」は「企業局」に名称を改め、新生企業局として新たな第一歩を踏み出しました。(写真は足尾発電所)

## 県立美術館30周年を記念し「クールベ」展

県立美術館は、4月14日から5月26日まで、開館30周年記念「クールベ展―自然と女性―」を開催しました。19世紀フランス写実主義の巨匠クールベは、風景や人物、動物など数多くの画題を描きました。この展覧会では、本県の豊かな自然と共通するクールベの故郷、オルナンの自然と女性を描いた作品に焦点を絞り、クールベ美術館を中心にフランス各地の美術館が所蔵する油彩画素描96点を紹介し、多くの人が鑑賞しました。



## 幼児教育センターがオープン

「県幼児教育センター」が4月1日に総合教育センター(宇都宮市)内にオープンしました。センターでは、幼児期から小学校低学年までの子どもたちの発達段階をふまえ、幼稚園・保育所・小学校の連携推進、教職員の研修、家庭教育広報誌「おうち」の発行、保育研究アドバイザーの派遣などの事業を行っています。今後子どもたちの発達段階をふまえた指導・援助の充実を目指し、教職員や保護者、幼児教育に携わる方々を対象に各種事業を展開していきます。



## 赤沼自然情報センターがオープン



奥日光の自然情報や利用情報などを提供する「赤沼自然情報センター」が4月26日、奥日光(赤沼)にオープンしました。このセンターは、戦場ヶ原や小田代原など自然フィールドの利用拠点としての役割のほか、小田代原方面に運行している低公害バス利用者の休憩スペースも兼ねています。また日光自然博物館のサブセンターとして自然教育、自然ふれあい活動を推進する施設となっています。

## 知事と市町村長 とが意見交換

市町村長会議が4月30日に県公館で開催され、活発な意見交換が行われました。会議には県内の全市町村長と福田知事、県の幹部などが出席。県が市町村に理解と協力をお願いする事項や市町村に共通する諸問題について協議しました。



## 浙江省の人民政府 代表団が来県

本県と友好提携を結んでいる中国・浙江省の人民政府代表団(周富副書記はじめ7名)が、4月16日日本県を訪れました。17日には、代表団はランの栽培農家や研修生の受け入れなどで交流のある県農業試験場、さらに宇都宮市の「ろまんちっく村」を視察しました。そのあと福田知事を訪問、今後も交流を深めていくことなどを確認しました。



## 21世紀林業創造の森に 森林交流館が完成

栗野町入栗野にある21世紀林業創造の森に森林交流館が4月1日にオープンしました。森林交流館は新しい林業技術に対応できる林業の担い手の育成と、森林・林業に関する理解の増進を目的に設置されました。森林・林業や木の良さを紹介する展示や、野外施設を利用した森づくりのための作業体験や、きのこ・山菜の栽培体験など、森林林業とのふれあいを深めていただく県民講座で利用いただくこととしております。



2002  
県政のあゆみ

## 緑豊かな県土を 後世にと県植樹祭

「たいせつに みどりのいのち そだてよう」をテーマに、県植樹祭が5月11日に、日光市で開催されました。県植樹祭は、森林や緑が、私たちの生活に与えてくれる「うるおい」や「やすらぎ」の大切さを、県民の皆さまに再認識していただくとともに、本県の緑豊かな住みよい県土を後世の人々に引き継いでいくため毎年開催しています。今回は日光小倉山森林公園を会場に、緑化功労者の表彰や緑の少年団の団旗授与などの記念式典や、福田知事、日光市長、日光市民などによる記念植樹が行われました。



## 不法投棄防止の 巡回監視体制を強化



県は、毎年6月の環境月間に合わせ、廃棄物の不法投棄や不適正処理の監視・指導を行っています。今年度は初日の6月3日に、県や市町村の監視員など総勢150人と従来よりも大幅に増員された「不法投棄ハトール隊」を編成し、県庁正面玄関前で出発式を行いました。隊員たちは、福田知事から「かけがえない栃木の自然と環境を守るため、不法投棄を「掃して欲しい」と激励を受けたあと、それぞれが県内各地の巡回監視に向かいました。

## 中学生が地域で体験学習

県教育委員会は「心の教育」の一環として、地域の中で連続5日間、さまざまな体験活動を行う「マイ・チャレンジ推進事業」をすすめています。6月10日から鹿沼北中、北押原中、板荷中、逆川中、若草中、金田北中を皮切りに、

県内すべての中学2年生の約6割にあたる生徒が本事業に参加しました。生徒たちは、貴重な体験ができたことへの満足感を感じるとともに、あいさつの大切さや働くことの厳しさなどを体験を通して学ぶことができました。





## 本県初の名誉県民、県民栄誉賞を表彰

本県初の名誉県民に陶芸家の島岡達三さん、県民栄誉賞に船村徹さんと渡辺貞夫さんが選ばれました。名誉県民は郷土の誇りとして県民に敬愛される人に、県民栄誉賞は県民

に明るい希望と活力を与えた人や団体に贈られます。受賞者の3人は、6月15日の県民の日記念式典で表彰されました。

## 地下鉄の貸切広告で「栃木福島地域」をPR

国会等の移転先候補地「栃木・福島地域」の適地性を、東京はじめ県外の方にも知ってもらうため、東京の地下鉄でPRを行いました。PRは丸ノ内線と銀座線の車両1編成を貸し切り、中吊りや壁など全ての広告スペースを使って行ったもので、5月16日から31日まで都内を運行しました。



## 知事がヴォークリユーズ県などを訪問

福田知事は6月20日から22日まで、就任後初めてフランス・ヴォークリユーズ県を訪問しました。20日午後には、ヴォークリユーズ県議会のクロード・オー議長と会談を行い、引き続き両県の友好交流を積極的に進めていくことを互いに確認しました。また、6月23日から25日まで、本県の重要課題への対応の参考とするため、ノールウェー王国を訪問し、男女平等センターなどを視察しました。





2002  
県政のあゆみ

## 初の「とちぎふるさとづくりフォーラム」を開催

知事と県民が県政について直接対話する「とちぎふるさとづくりフォーラム」が7月6日、大田原市で開かれました。この日は県北地域の人たちを中心に83人が参加し、幅広い意見が出席者と知事との間で交されました。このあと8月には小山市、10月には宇都宮市で開催されました。



## 両陛下が 県立博物館などをぞく視察

天皇皇后両陛下は、9月13日に来県し、県立博物館や高根沢町立阿久津小学校などを視察されました。阿久津小学校では児童たちが整備した「げんきもり森」を訪れ、森のアスレチックで遊ぶ子どもたちと交流を深めました。



## 全国の農業青年が交流

第14回全国農業青年交換大会が8月28日から30日まで、宇都宮市文化会館をメイン会場に開催されました。大会には、全国から2000人の農業青年が参加し、それぞれの技術と知識を相互に交換し、交流を深めました。初日の28日には皇太子ご夫妻をお迎えして開会式が行われ、これに続いて農業青年の夢の実現に向けた討論会や農業技術の創意工夫の成果の発表会などが行われました。このあと会場を市内のホテルに移し交流会が開催されるなど楽しいひとときを過ごしました。





## 知事が新100歳の齋藤湊さんを訪問

敬老の日を前にした9月12日、福田知事が老人週間事業の一環として、新100歳の方を訪問しました。今年度100歳を迎える高齢者の中から、これからの高齢社会のモデルにふさわしい健康で活動的な方として、齋藤湊さん（今市市木和田島）が選ばれました。知事は齋藤湊さん宅を訪れ「いつまでもお元気で」と長寿を祝い、祝詞と記念品を贈りました。



## 市町村合併をテーマに リレーシンポジウム

「市町村合併をともに考える全国リレーシンポジウム2002 in とちぎ」が9月8日に日光市で開催されました。この日は、石原信雄地方自治研究機構理事長による「地方分権と市町村合併」と題した基調講演に続き、福田知事、齋藤黒羽町長ら5人が参加したパネルディスカッションが行われました。ディスカッションで知事は「地域の将来像や行政サービスの維持向上といった長期的視点から議論して欲しい」と、各地で早期に合併協議会が設置されるよう期待を示しました。

## 「とちぎふるさと発見隊」が体験活動

小学5年生から中学生までの子どもたちが県内4つの少年自然の家を巡り歩く「とちぎふるさと発見隊」が8月1日から9日までの8泊9日で行われました。高校生、大学生のボランティア

や初めて出会った友達と登山や野外キャンプ、沢登り、杉板焼き、キャンプファイヤーなどとちぎの自然・歴史・文化に触れる体験を通して子どもたちは一回り大きく成長しました。





## 食と農テーマに多彩な催し

10月18日から27日まで「食と農の郷とちぎウィーク」が開催されました。これは、食や農について県民とともに考え、実践できる取り組みを推進するため、各種のイベントやシンポジウムなどを期間を集中して広範囲に実施しようと、関係機関・団体が連携して開催しました。期間中県内各地で食と農に関するシンポジウムや楽しいイベントが行われました。

## 優れた技能を紹介

10月19日と20日、宇都宮市のオリオン通りで、栃木県技能展が開催されました。会場では、技能者による優れた技能の紹介や一般市民の技能体験コーナーが設けられ、多数の来場者で終日にぎわいました。



## 「ピアールーム」オープン

思春期の悩みや不安を仲間（ピア）に相談できる場「クローバーピアールーム」が10月20日、宇都宮市内のデパートにオープンしました。「クローバーピアールーム」では、研修を受けた高校生と短大・大学生合わせて153人のピアカウンセラーが毎週土・日曜日の午後に、交代で思春期のみなさんの相談に当たっています。



## 国会等の移転先 候補地8府県知事が 共同アピール

10月8日、都内で国会等移転先候補地知事懇談会が開催され、福田知事が出席しました。懇談会では、国会等移転は公共事業ではなく、究極の構造改革であるとし、移転における事業費の限度枠の設定など、今後の取組の中で強調していくべきポイントについて合意がなされました。さらに、「国会等移転で日本再生」を共通目標として、関係8府県が一致団結し、移転実現に向けて積極的に取り組んでいくことを確認しました。



## 黒川・四ツ川の 災害復旧工事が完了

平成10年8月末の豪雨で被害を受けた黒川・四ツ川の復旧工事(延長36.2km)が完了し、10月30日に那須町文化センターで竣工式が開催されました。式典には約470人が出席し、記念行事では、余笹川・黒川合流点「であいの広場」で竣工記念碑の除幕式や県木トチノキの記念植樹、那須町立伊王野小学校6年生30人によるヤマメ1300匹の放流も行われ、事業の完成を祝いました。

## ヴォークリューズ 県議長が来県

10月16日から19日までフランス・ヴォークリューズ県のクロード・オー議長が就任後初めて来県しました。17日の午後、福田知事と会談を行い、両県の友好交流の一層の推進を確認しました。また、19日にはヴォークリューズ県の全面的な協力を得て開催された県立博物館開館20周年記念特別企画展「プロヴァンス発見」開会式に出席しました。



## ふるさと栃木の観光と物産を一堂に

「ふるさと栃木フェア2002」が10月25日から27日まで、マロニエプラザ(宇都宮市)で開催されました。県内全市町村の観光スポットの紹介や特産品などの展示・販売、また、とちぎの農林水産物の紹介や販売コーナー、そして県内のおいしいそばを提供した「農村レストラン」など、会場全体をとちぎの魅力でいっぱいになりました。さらには「食と農の郷とちぎウィーク」に関連した講演会の実施など多彩な催しが行われ、会場には期間中のべ7万3000人の来場者で大いににぎわいました。



## 再就職支援センターを開設

10月1日栃木会館(宇都宮市)2階に「栃木県再就職支援センター」がオープンしました。センターは、中高年離職者の再就職活動を支援することを目的としています。再就職の相談や就職情報の提供などを行う職業相談員と、メンタル面のケアや職業適性検査などにより専門的な相談を行うキャリアカウンセラーが、さまざまなアドバイスをを行っています。



## 県民ゴルフ場が10周年

「ゴルフをもっと身近なもの」をコンセプトに、誰でも気軽に利用できるゴルフ場として平成4年10月にオープンして以来、県民の皆さまに愛され続け、おかげさまで10周年を迎えることができました。



## 「なかがわ水遊園」入場者が50万人

「なかがわ水遊園」(湯津上村)の「おもしろ魚館」の入場者が10月29日に50万人に達しました。なかがわ水遊園は平成13年7月に開園。那珂川

をテーマにした水と緑の体験ゾーンで、魚の展示や学習体験ができるおもしろ魚館と野外レクリエーション施設などがあります。



## 下水道資源化工場が稼働

県内各地にある下水処理場で発生する下水汚泥などを集約処理、更にリサイクルすることを目的とする栃木県下水道資源化工場（宇都宮市）が、10月20日から稼働しました。この工場では、集約した下水汚泥などを約850℃で焼却後、焼却灰を約1300～1500℃の高温で溶融してスラグを製造します。また、製造したスラグは建設資材としてリサイクルしていきます。



## 「住宅フェア」を開催

『ひとに・まちに・自然にやさしく』をメインテーマに、10月18日から20日までの3日間、「とちぎ住宅フェア2002」がマロニエプラザで開催されました。今年で18回目を迎えた同フェアは約3万人を越す来場者でにぎわいました。また今回は、新しい試みとして住宅・福祉・環境関連のNPOなどの協力団体の出展がありました。新しい視点や発想で大いにフェアを盛り上げてくれました。



## 「とちぎそばの郷づくり推進協議会」を設立

「とちぎそばの郷づくり推進協議会」が10月7日設立され、初代会長に福田知事が選ばれました。協議会は、おいしい本県産のそばの魅力を活かし、食文化の発展や地域の活性化を図ることで、そばに関わる関係団体が多数参加して発足したものです。



## 県立博物館20周年を記念し「プロヴァンス発見」展

県立博物館の開館20周年を記念した特別企画展「プロヴァンス発見 古代ローマからファールブルまでー自然・歴史そして美ー」が10月20日から12月1日まで開催されました。ヴォークリュース県内の

博物館・美術館の貴重なコレクション約150点が展示されました。また、関連行事として、講演会やハーブ、ワインの講座、演奏会なども行われ、期間中約1万6千人の入場者でにぎわいました。





2002  
県政のあゆみ

## 新栃木尻内線が開通

都市計画道路新栃木尻内線（県道栃木粕尾線／延長0.9km）が、11月1日に開通しました。これまでは、道路幅員が狭く歩道もないことから、円滑な交通に支障をきたしていました。この開通により、交通の円滑化が図られるとともに、快適で安全な都市の形成や中心市街地の活性化に大きく寄与するものと期待されます。



## 「フォレスト益子」 などにマロニエ建築賞

栃木県マロニエ建築賞表彰式が11月27日、県公館で行われました。今年度は、マロニエ建築賞に「旧イタリア大使館夏季別荘」「フォレスト益子」「特別養護老人ホーム・やまさわの里」の3つの建物が、このほかマロニエ建築奨励賞には4つの建築物が選ばれました。



## 本県の優れた製品を一堂に

優れた製品を一堂に展示紹介し、企業の方々の新たなビジネスチャンスを支援する総合産業見本市「とちぎ産業フェア2002」が11月14日から16日

まで、マロニエプラザ（宇都宮市）で開催されました。出展企業による展示、新製品・新技術の紹介や実演のほか、多彩なセミナーが開催されました。



## 余笹川の砂防事業が完了

平成10年8月末の豪雨で被害を受けた余笹川の砂防工事が完了し、11月21日に竣工式が那須町の余笹川砂防公園で開催されました。式典には関係者や地元住民など約100人が出席。式典終了後には、記念碑の除幕、記念植樹、那須町立大沢小学校の児童によるイワナの放流などが行われ、事業の完成を祝いました。



## 「21世紀の”とちぎ”を語る」シンポジウムを開催

「21世紀の”とちぎ”を語る」シンポジウムが11月12日、栃木会館（宇都宮市）で開催されました。シンポジウムは、わが国や本県の将来の姿や目指す方向について、有識者にご議論をいただき、私たち一人ひとりが将来の暮らしや郷土のあるべき姿について考えるきっかけにするため開催されたものです。パネルディスカッションでは、会場に詰めかけた多くの県民の皆さんを前に、知事も含めたパネラーの方々から、「とちぎ“への強い思いと大いなる期待が熱心に語られました。」



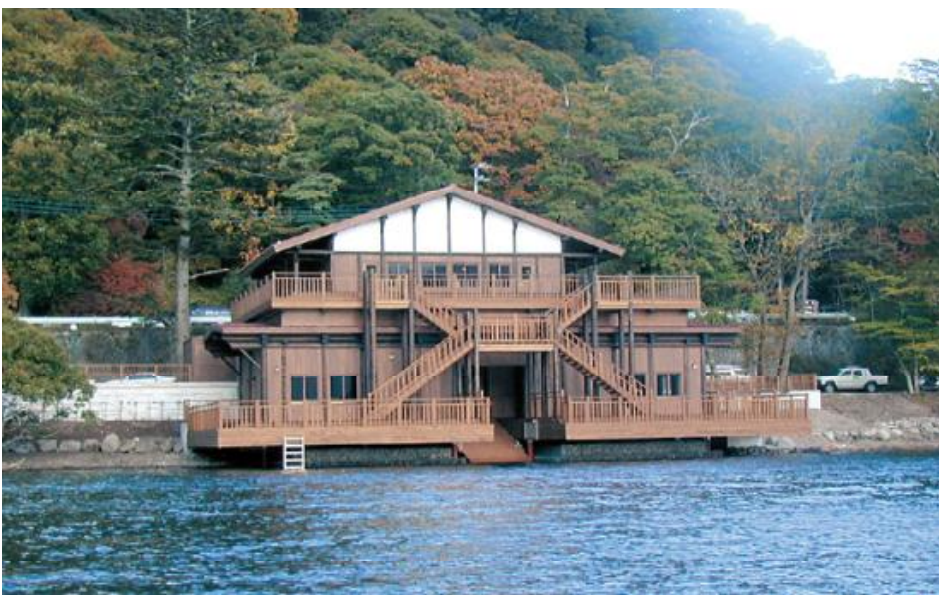
## 東北道の30周年を記念し意見交換

東北自動車道岩槻～宇都宮間の開通30周年を記念した「記念フォーラムinとちぎ」が11月6日、県総合文化センターで開催されました。フォーラムでは、約500人が参加するなか、宇都宮大学の古池弘隆教授による基調講演や、福田知事らパネリストが東北道の果たした役割や北関東道の早期開通への期待について意見交換が行われました。



## 中禅寺湖畔ボートハウスが仮オープン

日光市の中禅寺湖畔に改修整備を進めていた「中禅寺湖畔ボートハウス」が完成し、11月1日に仮オープンしました。「中禅寺湖畔ボートハウス」は、昭和22年米国の水辺リゾート地の建物をモデルに建設され、戦後の日米親善交流施設として親しまれてきました。生まれ変わったボートハウスは、建設当時の雰囲気再現するとともに、中禅寺湖畔沿いの歩道の休憩施設として、また湖畔の豊かな自然や水とのふれあいの場となっています。



## 東京の地下鉄で「オーナー制度」をPR



「日光杉並木オーナー制度」を県外の人たちにも知っていただくため、12月2日から1月6日にかけて東京都営地下鉄線車内でドアステッカーによるPRを行いました。このほかバスのポディに広告を施した路線バスも前年の夏から3月まで東京駅や銀座周辺を走りました。オーナー制度は杉並木を1本1千万円で購入していただき、その運用益を活用して樹勢回復事業などを行うものです。これまでに490人(団体も含む)のオーナーが誕生しています。



## 「とちぎベンチャーマーケット」を開催

創業や新分野進出を目指す企業家の新しい事業起こしを支援する場として、第1回目の「とちぎベンチャーマーケット」が12月6日に開催されました。マーケットでは、ベンチャーキャピタルや個人投資家、金融機関などの幅広いサポーター層の参加を得て、資金調達や事業パートナーの獲得を目指す企業家によるビジネスプランの発表会や交流会が行われました。

4月	国会等移転実現県民大会(宇都宮市)
	30 市町村長会議
	11 県植樹祭・とちぎグリーンフェア(日光市)
	12 栃木県看護大会
5月	15 とちぎNPO・ボランティアシンポジウム
	16 営団地下鉄車両貸し切りで国会等移転PR(31日まで)
	18 県民の日記念行事(葛生町)
	23 本県の花き栽培農家が国際園芸博覧会(オランダ)に出展(総合アレンジ・ブースコンテストで金賞受賞)
	栃木県経済活性化会議を設置
	25 県ゆうあいピック大会
	26 統一美化キャンペーン(33市町で散乱ゴミの収集活動を実施)
	27 ブロック別市町村長会議(鹿沼地区=このあと8地区で開催)
	28 主要地方道栃木粕尾線大久保工区部分開通(栃木市)
	29 国会等の移転先候補地3地域が東京駅で共同PR(30日まで)
6月	1 とちぎ県民カレッジ開講
	3 不法投棄パトロール出発式
	8 県民の日記念行事(9日まで・藤原町、二宮町、南河内町、河内町、小川町、湯津上村)
	10 「マイチャレンジ推進事業」スタート
	11 第1回県IT推進懇談会を開催
	15 県民の日記念式典(名誉県民、県民栄誉賞、各種功労者を表彰)
	19 知事がヴォークリュースなどを訪問(26日まで)(ヴォークリュース県20~22日、ノールウェー訪問23~25日)
	23 男女共同参画週間「とちぎ県民のつどい」
	28 シルバー文化祭(6月29日まで)
	29 男女共同参画地域連携フォーラム(小山地区、9月28日に芳賀地区でも開催)
7月	3 知事が北東地域首都機能移転5県知事会議を代表し国会に要望
	5 食品表示ウォッチャーを委嘱
	6 「とちぎふるさとづくりフォーラム」(大田原市) ロシア国立ワガノア・バレエ・アカデミー留学生オーディション(7日まで)
	7 とちぎ青少年センターの開館1周年を記念しフェスティバル開催
	13 全国高等学校野球選手権栃木大会開幕
	23 奥日光で湖上学習会(湯の湖、中禅寺湖水域の水質保全を目的とした体験学習会)
	26 ふれあい活動高校生のつどい
	27 「新しい高校づくりフォーラムとちぎ」(8月11日まで) 日光杉並木街道でクリーン作戦(今市市)
	1 「とちぎふるさと発見隊」が自然の家で体験活動(9日まで)
	2 県庁で防災図上訓練を実施
8月	9 新規就農者を励ます「とちぎフレッシュファーマーズ2002」を開催
	25 「とちぎふるさとづくりフォーラム」(小山市)
	28 初の県大規模公共事業事前評価委員会を開催

<h2 style="margin: 0;">2002 県政のあゆみ</h2>	
1月	4 新春知事記者会見で「分度推譲立県」の方針を表明
	8 県農業士、女性農業士、名誉農業士あわせて36人を認定
	10 国民体育大会冬季大会本県選手団結団式(日光市)
	11 県民防災の集い
2月	19 新交通「LRTを活かしたまちづくり」シンポジウム
	3 子宝まつり(とちぎ女性センター・パルティ)
	5 環境と調和した農業生産シンポジウム
	8 農業士発足20周年を記念し大会
3月	10 栃の葉国体記念健康マラソン大会
	15 文化振興大会(日光市)
	20 優れた技能をもった人を「とちぎマイスター」として認証
	22 北東地域首都機能移転実現総決起大会(東京都)
4月	15 とちぎ花フェスタ(17日まで)
	18 栃木県新行政改革大綱(改訂版)を策定
	19 一般県道鹿沼環状線(西茂呂工区)開通(鹿沼市)
	20 食品表示110番(栃木県)設置 国道122号線(切幹工区)開通(足尾町) 都市計画道路佐野田沼線「大橋町アンダー」開通
5月	24 とちぎケアマネージャー協会設立
	25 日塩有料道路龍王バイパスが開通(藤原町)
	26 「やすらぎの栃木路」ウェルカム2002を開催(東京都) 栃木県小児医療体制整備構想を策定
	27 主要地方道真岡烏山線、主要地方道宇都宮向田線(中柏崎工区)開通(芳賀町・高根沢町)
6月	1 「企業庁」が「企業局」に組織改編 栃木県幼児教育センターがオープン 21世紀の森「森林交流館」オープン(粟野町) 乳幼児医療費の助成対象を未就学児まで引き上げ 婦人相談所に配偶者暴力相談支援センターを設置
	6 春の交通安全県民総ぐるみ運動を実施(15日まで)
	9 参議院国会等移転特別委員会が「栃木・福島地域」を現地調査
	14 県立美術館開館30周年記念クールベ展(5月26日まで)
7月	15 益子県立自然公園「益子の森」内に「フォレスト益子」オープン(益子町)
	16 中国浙江省の人民政府代表団が来県
	20 春季高等学校野球大会が開幕
	25 都市計画道路高萩村上町線が開通(佐野市)
8月	26 赤沼自然情報センターオープン(日光市)

10月	26 クリーンアップフェア2002宇都宮(環境問題やゴミ問題について楽しみながら学べるイベントを開催(27日まで))
	27 新進音楽家演奏会「コンセール・マロニエ21」を開催
	28 一般県道多田吉水線(栃本工区)開通(田沼町)
	29 なかがわ水遊園入場者50万人達成
	30 黒川・四ツ川の災害復旧工事が完了(那須町)
	1 国営芳賀台農業水利事業が完工 中禅寺湖畔ポートハウス仮オープン(日光市) 都市計画道路新栃木尻内線が開通
	2 県発明展覧会、児童生徒発明工夫展覧会(4日まで)
	5 企業立地セミナーin東京
	6 東北自動車道「開通30周年記念フォーラムinとちぎ」
	9 とちぎ教育の日振興大会
11月	11 県文化功労者 岡部信夫さん(建築文化)を表彰
	12 21世紀の“とちぎ”を語るシンポジウム
	14 「とちぎ産業フェア2002」(16日まで) 全国市場食品衛生検査所協議会全国大会(15日まで)
	15 県障害者文化祭「カルフルとちぎ2002こころのつどい」(16日まで)
	16 フェスタ in パルティ(17日まで) 男女共同参画セミナー公開講座
	20 青少年のための県民のつどい(日光市)
	21 県統計大会 地域密着体験ツアー(栗山村) 余笹川砂防事業完了
	22 「女性に対する暴力をなくす運動」講演会
	25 とちぎの道づくりシンポジウム開催
	27 栃木の食材を使った店を「とちぎの食材提供店」として認定(268店舗) 県マロニエ建築賞表彰式
12月	28 人権同和問題講演会
	29 森林林業祭(功労者を表彰) 職業能力開発促進大会
	30 男女共同参画地域連携フォーラム(塩谷地区)
	1 とちぎ青少年センター・アミークスフェスティバル(青少年の自主活動の紹介や青少年活動の情報を提供)
	2 東京都営地下鉄線車内のドアステッカーで日光杉並木オーナー制度をPR(1月6日まで)
	6 交通安全県民大会 「とちぎベンチャーマーケット」を開催 県芸術祭表彰式
	10 とちぎマロニエカップ(競馬)開催
	11 年末の交通安全県民総ぐるみ運動を実施(31日まで)
	16 ベンチャー企業と金融機関との出会いの場のとちぎベンチャーマーケットを開催 全国ホルスタイン共進会栃木県実行委員会を設立
	24 一般県道石裂上日向線御幣岩橋開通(鹿沼市) 主要地方道大田原高林線(大田原工区)開通(黒磯市)

9月	28 全国農業青年交換大会(30日まで)
	3 県民福祉のつどい
	4 なかがわ水遊園を秋篠宮殿下がご視察
	7 秋季高等学校野球大会開幕
	8 市町村合併全国リレーシンポジウム(日光市)
	9 企業立地セミナーin名古屋 救急医療週間記念大会 県公衆衛生大会
	12 知事が新100歳の齋藤湊さん(今市市)を訪問
	13 天皇皇后両陛下が来県し、県立博物館と高根沢町立阿久津小学校をご視察
	15 県民スポーツ・レクリエーションフェスティバル
	18 「交通安全の火」採火式
10月	21 秋の交通安全県民総ぐるみ運動を実施(30日まで)
	28 県芸術祭美術展(洋画・彫塑・工芸)(10月10日まで) 少年の主張発表県大会
	1 県民ゴルフ場がオープン10周年 再就職支援センターを開設
	2 21世紀ルネッサンス青年リーダー招へい事業(外国青年との交流)を実施(6日まで)  女性の海外研修(地域リーダー養成のため30人をノルウェーなどに派遣・11日まで)
	5 とちぎ木の県推進大会
	7 とちぎそばの郷づくり推進協議会設立
	8 国会等移転先候補地知事懇談会(東京都)
	9 県伝統工芸品展(14日まで)
	12 県身体障害者スポーツ大会
	13 とちぎインターナショナルフェスティバル2002 とちぎ森と緑の集い(県育樹祭・矢板市)
11月	16 ヴォークリユーズ県議長来県(19日まで)
	18 食と農の郷とちぎウィーク(27日まで)  大学などの研究資源と中小企業の開発ニーズのマッチングの場「とちぎテクノモール」を開催 とちぎ花センターが創立10周年 「とちぎ住宅フェア2002」(20日まで)
	19 県技能展(20日まで) 県芸術祭美術展(日本画・書道・写真)(29日まで) 県立博物館開館20周年記念特別企画展「プロヴァンス発見」(12月1日まで)
	20 下水道資源化工場が稼働(宇都宮市) 思春期相談センター「クローバーピアルーム」オープン
	21 不法投棄防止のつどい(大田原市)
	23 全国手すき和紙連合会栃木県大会(烏山町)
	25 「ふるさと栃木フェア2002」(27日まで)